

倉敷市立児島市民病院 病院広報誌

「赤レンガ」

【平成26年度・第3号(秋号)】

発行:倉敷市立児島市民病院広報委員会・地域医療連携室

発行月:平成26年9月



「備中国分寺のコスモス」 (当院職員撮影)

備中国分寺は、総社市の南部の小高い丘のうえにある由緒正しい寺院です。備中国分寺は、天平13年(741年)に聖武天皇の「鎮護国家」(仏教の力を借りて国や人々を災厄から守る)の理念のもと建立された「国分寺・国分尼寺」のひとつです。境内にそびえる五重塔は県内唯一の建造物で、国指定重要文化財となっています。備中国分寺の五重塔の周囲には四季折々の草花が咲き誇り、吉備路の代表的な景観です。 (参考:総社市HP)

巻頭言:

気候不順の夏が過ぎ、いよいよ本格的な長雨・台風シーズンの到来です。災害への備えは日ごろからの準備が肝心です。地域の避難場所や非常持ち出し袋を確認してみましょう。

<目次>

- P. 1 表紙「備中国分寺のコスモス」・巻頭言 P. 2 お知らせ(診療ニュース)
P. 3 診療科紹介:産婦人科 P. 4 連携のひろば(おか内科耳鼻科)
折込資料:「外来診療予定表」「地域包括ケア病棟のご案内」等

【診療ニュース】

「脳神経外科」の診療を強化します

当院「脳神経外科」は月1回（第3金曜日）に村山佳則先生（児島医師会・村山クリニック院長）にご協力いただき、診療を実施していましたが、平成26年10月より脳神経外科の診療日を拡大し、診療を強化いたします。
隔週の水曜日（第1・3水曜日午後）に岡山大学脳神経外科より新光阿以子（しんこうあいこ）先生による診療を開始することになりました。

頭痛、パーキンソン病、脳卒中、脳腫瘍、脳動脈瘤、認知症などの脳神経外科関連疾患に広く対応いたします。脳神経のことでお悩みの患者さまは、是非ご受診ください。

「形成外科」の診療時間・予約枠をさらに拡充します

形成外科は児島地区で唯一の診療拠点ということで、予想以上に患者さまがご来院いただき、しばしば診療待ち時間が長時間になることがありました。

こうした現状を踏まえ平成26年10月より形成外科の診療枠を拡大いたします。拡大する診療枠は火曜日の午後となります。原則、紹介患者さんが優先の診療枠ですが、相談に応需いたします。

「倉敷国際トライアスロン大会」に医療チームを派遣しました

平成26年9月14日に開催された「倉敷国際トライアスロン大会」（通称：「児島トライアスロン」）に当院より医療チームを派遣しました。

当日は岡山赤十字病院からの医療チームとともに、参加者の負傷者救護などにあたりました。当院はこれからも地域をささえる医療機関を目指します。



「地域包括ケア病棟」を新設します

当院は平成26年10月より「地域包括ケア病棟」を新設いたします。

「地域包括ケア」とは、団塊の世代が75歳以上となる2025年をメドに実現を目指している「重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される」という社会システムです。

当院としても急激に進行する高齢化と地域における医療機能の分化をふまえ、4階東病棟に当該病棟を開設する運びとなりました。この病棟の役割・特徴は

①在宅復帰機能

地域包括ケア病棟以外の急性期病床に入院しておられた患者さまで、病状・治療の進捗状況により、さらにリハビリテーションなどの入院診療の継続が必要な場合に当該病棟を活用いたします。その場合は**病棟の移動が必要ですのでご了承ください**。入院を継続しながら主治医、看護師、リハスタッフ、医療相談員等の専門職が協力し、患者さまに不安なく安心した状況での在宅復帰へ向けた相談、準備を行っていきます。

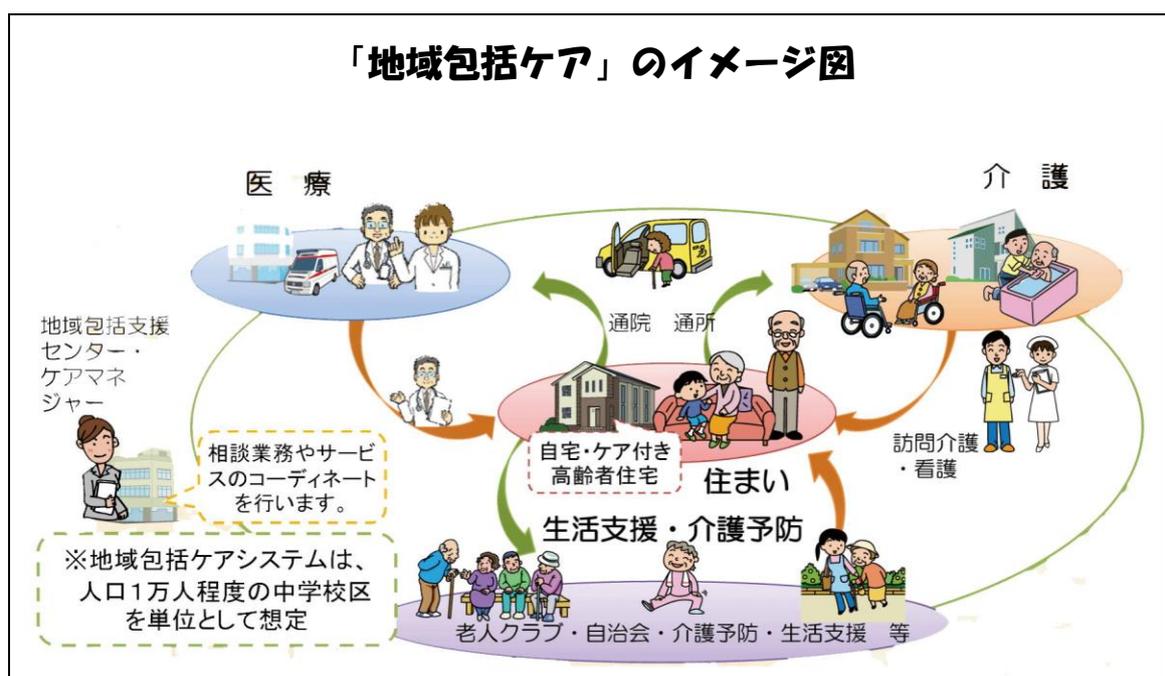
②高度急性期医療機関からの患者受入機能

高度先進医療や緊急手術等、倉敷中央病院などの高次急性期医療機関からリハビリや継続診療を目的とされた患者さまを積極的に受入します。

③地域の医療機関・施設からの緊急入院の受入機能

在宅診療をしている開業医の先生や、地域の高齢者福祉施設からの入院要請に積極的に対応します。(病状により一般病棟を経由する場合があります。)

当該病棟の利用に関しましては、地域医療連携室にお気軽にご相談ください。



児島市民病院では

妊婦健診を実施しています！

ただし、現時点ではまだ分娩は再開しておりません。

そのため、市内で分娩可能な医療機関と連携し、妊婦健診は当院で、分娩は妊婦様が希望する医療機関で対応をさせていただくことになります。

当院にて妊婦健診御希望の方は、ぜひ御利用ください。



(1) 妊婦健診の受診方法について

妊婦健診は、「**予約制**」です。 下記の予約窓口にお電話ください。

予約窓口：倉敷市立児島市民病院 産婦人科外来

電話番号： 086-472-8111

(対応時間 月曜日～金曜日 祝日を除く 8:30～17:00)

(2) 妊婦健診の診療時間帯について

受付時間	月	火	水	木	金
8:40～10:30	○	-	○	-	○
10:00～11:00	-	-	-	○	-
14:00～15:00	○	○	○	○	○

(3) 「周産期医療連携」について

当院の分娩につきましては現時点では、市内にあります3つの医療機関（倉敷中央病院・川崎医科大学附属病院・倉敷成人病センター）と連携体制をとっています。



診療科紹介：「産婦人科」

当院は長年児島地域の産婦人科医療の一角を担ってきましたが、約5年間常勤医師不在の状況が続き、地域の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。深くお詫び申し上げます。

常勤医師である高取明正先生が昨年4月から赴任し、5月より手術を再開しました。9月からは妊婦健診を開始し、来る分娩再開に向けて準備を行っているところです。皆様に信頼される婦人科医療を行えるよう努力してまいります。

なお、当科では下記のとおり「妊婦健診」を行っております。



(産婦人科スタッフ)



非常勤医師（早田・藤森医師）

1. 妊婦健診について

月曜日から金曜日まで、予約制で対応しております。火曜日は午後診のみです。やさしい助産師2名による妊婦指導がありますので、ぜひお気軽にお尋ねください。

	月	火	水	木	金
午前	高取	早田(手術があれば休診)	高取	藤森	高取
午後	高取	早田	高取	藤森	高取
妊婦検診	予約制(＃)	予約制(＃)	予約制(＃)	予約制(＃)	予約制(＃)

＃：午前は月・水・金は8時40分より10時30分まで。木は10時より11時まで。

午後は14時から15時まで。

2. 主な診療内容

不妊症：体外受精以外の一般的な不妊治療を行います。人工授精まで可能です。

妊孕性温存手術（子宮・卵巣・卵管などを温存する手術）：子宮内膜症や子宮筋腫に対する腹腔鏡下手術、粘膜下子宮筋腫・子宮内膜ポリープに対する子宮鏡下手術を行っています。

子宮頸癌：一般的な癌検診で異常が見つかった患者様には最新の拡大鏡を利用し生検を実施。HPV（ヒトパピローマウイルス）検査も必要に応じて行います。初期の子宮癌には超音波メスを用いた円錐切除術を行っております。

子宮体癌・卵巣癌：初期癌から浸潤癌までの根治手術・化学療法を行っております。

骨盤臓器脱：保存的療法から、温存手術まで段階に応じて行っております。手術は従来 of 手術療法に加えて、メッシュを用いた手術療法も行っております。

良性腫瘍等：腹腔鏡を用いた手術を行っております。流産手術も取り扱います。

思春期・更年期医療等：ピルなどを用いたホルモン療法・漢方治療を行っております。プラセンタ投与・月経移動・避妊・緊急避妊なども行っております。

連携のひろば：連携医療機関のご紹介



おか内科耳鼻科

岡秀行先生・奥山晃子先生

岡秀行先生（内科医師）：

総合内科専門医として、糖尿病をはじめさまざまな病気に対応しています。消化器病専門医、アレルギー専門医、呼吸器専門医の資格を有しており、胃カメラやエコーなどの検査、ぜん息や睡眠時無呼吸などの治療に力を注いでいます。また往診・在宅医療も行っています。児島市民病院と連携しており、いつも入院治療をお願いしています。患者さんが入院された後も、オープンベットを利用し、病院の先生と直接お話しして、切れ目のない治療を続けられるようにしています。

奥山晃子先生（耳鼻咽喉科医師）：

耳鼻咽喉科専門医が診療にあたります。かぜ、花粉症などの身近な病気はもちろん、めまいや難聴、のどのガンの心配、補聴器希望など、何でもご相談ください。



所在地：倉敷市児島稗田町 1957

電話：086-472-7780

診療科目：内科・小児科・耳鼻咽喉科

内科：診療時間	月	火	水	木	金	土
9：00-12：30	○	○	○	○	○	○
16：00-19：00	○	○	○	○	○	-
耳鼻科：診療時間	月	火	水	木	金	土
9：00-12：30	○	○	○	○	○	○*
16：00-18：00	○	-	○#	-	○	-

内科休診日

土曜午後、日祝日

耳鼻科休診日

火・木・土曜午後

日祝日

*：12：00まで

#：17：00まで

発行者：倉敷市立児島市民病院

住所：〒711-0921 倉敷市児島駅前2丁目39番地

TEL：086-472-8111（代表）FAX：086-472-8134（連携室直通）

<http://www2.city.kurashiki.okayama.jp/hospital/index.html>（**児島市民病院**で検索）

編集：倉敷市立児島市民病院・広報委員会 地域医療連携室